



公明党
長谷部 竜作
議員

山武市〈育てる力〉 集中創生戦略について

問 創生戦略の基本目標3には、「経済連携協定(EPA)による外国人介護人材の受け入れを支援します」とあるが、現状はどうですか。

答 副市長 市内の介護保険事業者が経済連携協定(EPA)により

まして受け入れた実績は、今のところありません。

問 市内の民間事業者・施設からの受け入れの要請、また受け入れ体制の整った施設等はあるでしょうか。

答 副市長 介護事業所からの要請は、市に要請が来ることはありません。介護事業者が、国際厚生事業団

と相談をして決めることです。また、市内の介護事業所が、外国人介護人材の研修あるいは雇用の場として受け入れる施設が整っているかどうかについては、これらを網羅的に調査したことはありません。

問 創生戦略には、「松尾高校スーパージョーバルハイスクールと連携した世界的な高齢者福祉モデル地区とするための人材育成の支援を目指します」とあります。

そこで、外国人介護人材と松尾高校の生徒の交流が図れるように取り組んでいってはどうですか。

答 副市長 現在、政府で外国人の介護等の技能実習が適正に実施されることを目的とした2本の法律案が、国会に提出されています。

現在この2法案は継続審議となっていますが、これらの法案が成立すると、外国人介護福祉士が日本に増え、あわせて、市内の介護事業所にも雇用されていくことが見込まれているところです。

このような中で、今後、外国人介護福祉士や介護士の資格取得を目指す外国人の方々と、松尾高校生あるいは成東高校生との交流の機会を作っていくことは、非常に有益であると考えています。県の教育委員会、あるいは松尾高校に情報の提供、提案を積極的に行うしていきたいと思っております。

問 創生戦略には、「日本版CCRC構想についての検討を行うことで、高齢者にとって魅力ある環境づくりを進めていきます」とあります。

答 市長 市は現在、高齢化率も大変高いという中で、何とか地域全体、市全体の若返りを図るということに力を入れていきたいということが基本にあります。合併をして10年、地域の活力は非常に落ちてきている。10年前と比べて、高齢化率も非常に上がってきたという現実を目の当たりにして、地方の活性化、地方の将来を、50歳以上の方々、元気があるとはいえ、こういった方々にたくさん移住していただくことによって、将来が

日本版CCRCとは、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じた地域や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を指すものです。この日本版CCRC構想を積極的に検討すべきと思いますが、いかがでしょうか。

CCRCとは… (Continuing Care Retirement Community)：健康な時から介護時まで移転することなく安心して暮らし続けることができる米国のシニアコミュニティ。「日本版CCRC」は、CCRCを日本の国民性・地域性・制度に適合させ、普及を目指すモデル。国の地方創生に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもその検討が明記されている。

